

第7回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成30年1月19日（金）10時00分～12時00分
- 2 会 場 大宮区役所1階多目的室
- 3 出席者 20名

（委員）14名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長
新井陽子委員、井上恵美子委員、大野敏子委員、仙石玲委員、武田千春委員、
登坂篤委員、藤田信一委員、星野美子委員、松岡忠男委員、松本よしの委員、
村上隆子委員

（欠席委員）4名

小倉京子委員、齋藤泰雄委員、田代秀一委員、廣澤宣明委員

（オブザーバー）1名

大野（副区長）

（事務局）3名

白石（コミュニティ課長）
佐伯、加藤（コミュニティ課）

（コンサルタント）2名

植田、白木（(株)社会構想研究所）

4 内 容

（1）開会

（2）協議事項

- ①「大宮公園グランドデザイン」策定に向けて、その現状について
- ②第8期区民会議テーマ選定について（グループディスカッション）

（3）連絡事項

（4）閉会

5 議事内容

大宮公園ランドデザインと大宮をよりよくするために必要なこと

第5回に引続き、これから大宮のまちがどのように変わっていくのか、市や県の方針を知ろうということで、大宮駅と並ぶ大宮区のランドマークである大宮公園について、埼玉県公園事務所の所長より説明を受けた。

後半は、これまで区民会議で話し合ってきた内容や、行政の担当者からの説明、現地視察等を踏まえ、大宮をこれまで以上により良くするためにはどのようなことが考えられるか、第8期区民会議テーマ選定について自由に意見を出し合った。

【協議内容】

①「大宮公園ランドデザイン」策定に向けて、その現状について

(埼玉県都市整備部大宮公園事務所)

まず、大宮公園について、概要と各施設等の今年度の利用状況、明治から現在までの大宮公園の歴史について説明があった。続いて、現在の大宮公園の身近な課題（桜の高齢化や施設の老朽化、ポート池のあり方等）と現在の対応状況について説明があった。最後に、大宮公園ランドデザインとして、検討スケジュールや策定の背景等について説明があった。

質疑応答では、競輪が開催されていないときの双輪場の活用の仕方や、公園内の売店等の店舗や休憩施設の活用方法、スポーツイベントと連動した大宮公園の盛り上げ方等について、意見が出された。

②第8期区民会議テーマ選定について（グループディスカッション）

A班

今回の大宮公園ランドデザイン等、今提言しないと間に合わないものがたくさんある。しかし、全部を提言することは難しい。そのため、公共用地の活用にしばって協議するのかよいのではないか。特に図書館跡地は、氷川神社の参道にあり、博物館など歴史も感じられる。そこに、土産物屋やトイレや休憩スペース等をつくるような提案ができるのではないか。

B班

大宮GCS化構想等の大きな計画には、区民会議としてあまり影響力が出せないのではないか。他のアプローチとして、大宮のまち全体を対象としたまちづくり、大宮のイメージづくりが必要だ。そのために、誰に何を伝えるかということを協議する必要がある。（高齢者・歴史・駅など）

次回第8期区民会議は、平成30年2月21日（水）午後3時から、区役所1階多目的室で開催予定。

第7回大宮区区民会議 グループワークのまとめ

A班

今提言しないと間に合わないものがたくさんある

- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想（GCS）
- 公共用地（区役所・図書館などの跡地等）の活用
- 大宮公園グランドデザイン

単体だけではなく、一体的にまちづくりをしなければいけない

しかし 全部を提言することは難しい

そこで、公共用地の活用にしぼる

特に図書館跡地は、氷川神社の参道にあるし、博物館など歴史も感じられるおみやげ物屋やトイレや休憩スペースなども

B班

グランドステーション化構想にはあまり影響力が出せない？



他のアプローチを考える

大宮のまち全体を対象としたまちづくり ⇒ 一過性ではないもの

大宮のイメージづくりが必要



誰に何を伝えるか

- ▼ 高齢者を対象
- ▼ 口琴の活用
- ▼ 歴史イメージをつなげる
- ▼ 駅のイメージ等々